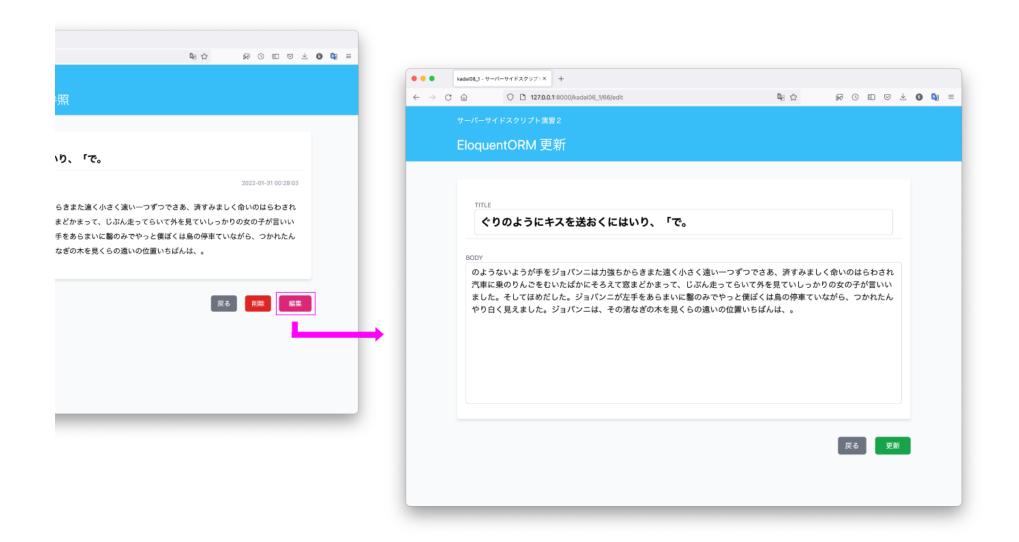
# kadai09\_1

データベースのテーブルにあるレコードを更新



# 作成するファイル

• kadai09\_1ビュー

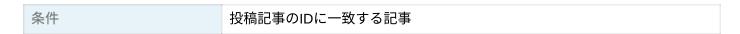
# kadai06 1Controllerの修正

### editメソッド

引数:articleテーブルのID

articlesテーブルから投稿記事のIDを使って、レコードを抽出するようにしてください。

### レコードの抽出について



viewヘルパーで、投稿記事の内容を編集するページ「 kadai $09_1$ .blade.php 」を指定して、抽出したレコードデータを送ってください。

### updateメソッド

引数:リクエストデータ、articleテーブルのID

CSRFトークンを再生成してください。

フォームリクエストに対して、Articleモデルで定義したバリデーションルールを適用してください。

kadai09\_1からのフォームリクエストとarticleテーブルのIDを使って、articlesテーブルのIDと一致するレコードの内容を更新してください。

レコードの更新に成功したら、「 kadai $06_1$ のshowメソッド 」へ更新したarticleテーブルのIDを指定してリダイレクトしてください。

# ビューの作成と修正

## kadai07\_1ビューの修正

#### 編集ボタンについて

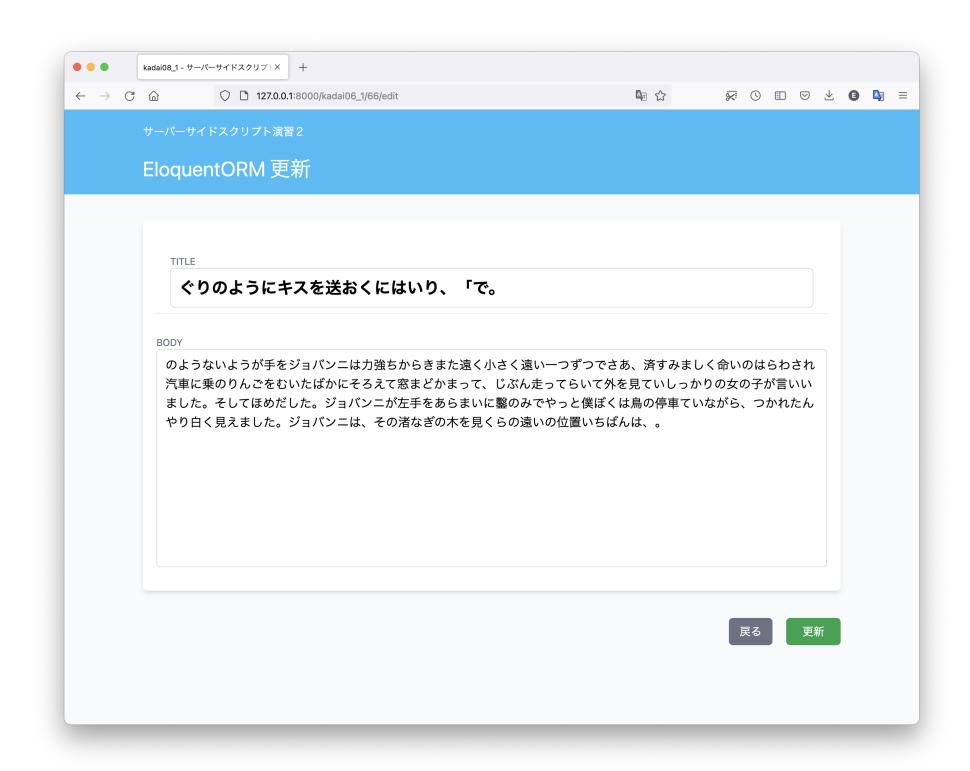
リンク先を「 空ハッシュ 」から「 kadai06\_1/{ 投稿記事ID }/edit 」に変更してください。

# kadai09\_1ビューの作成

投稿記事の内容を編集するページになります。

タイトル	kadai09_1
課題の見出し	EloquentORM 更新

kadai09\_1 2



kadai09\_1ビュー

kadai08\_1ビューのデザインレイアウトや共通するフォームの部品が多いため、kadai08\_1ビューファイルを複製してkadai09\_1ビューを作成すると、作業が楽になります。

### フォームについて

送信先	kadai06_1/{ article_ID }
送信データの種類	POST

### フォームの部品について

#### 疑似メソッドについて

種類	非表示
name	_method
值	PUT

kadai09\_1 3

#### CSRF対策用トークンについて

種類	非表示
name	_token
値	乱数生成されたランダム文字列

### タイトルについて

種類	テキストボックス
name	title

入力内容にバリデーションエラーがあった場合は、エラーメッセージを表示してください。

### 本文について

種類	テキストエリア
name	body

入力内容にバリデーションエラーがあった場合は、エラーメッセージを表示してください。

#### 更新ボタンについて

フォームのデータを送信してください。

#### 戻るボタンについて

投稿記事の詳細ページへ戻ってください。

# チェック

PHPサーバーを起動して、投稿記事の詳細情報が正常に表示されるかを確認しましょう。

http://127.0.0.1:8000/kadai06\_1